

ねんきん埼玉

2025年1月15日 第350号

全日本年金者組合 埼玉県本部

発行責任者 宇佐美忠利

〒337-0051 さいたま市見沼区東大宮5-53-16

TEL 048-686-2044 FAX 048-686-2144

メール: nenkinsaitama@kzh.biglobe.ne.jp

# 新春 インタビュー

## 新支部長へバトン引き継ぐ

蓮田支部

# 世代交代が実現

鈴木 前支部長  
土井 新支部長

大いに語る



93歳 → 72歳



## 新支部長の決意と

## 支える仲間たち

蓮田支部は2024年7月25日、支部の総会を開催しました。この総会で93歳になる鈴木益邦支部長が退任し、72歳の土井正洋新支部長が誕生、懸案であった世代交代を成し遂げました。

新年にあたりこの両名を埼玉県本部にお招きして、「ねんきん埼玉」町田編集長の進行で話を伺いました。紙面の都合で、お二人のお話を抜粋して掲載します。

**蓮田支部はこうだった  
前支部長が振り返る**

◆マスコミで働いていて、重労働のケガだけでなく、腰痛を引き起こす非災害性労災、過労死を初めて認定させた労働運動に関わっていました。

「地域の活動をやりたい、高齢者の命と健康を大事にしていく団体が年金者組合」と2010年に80歳で年金者組合に加入。

その当時の支部長が大病で具合が悪くなり、2012年に鈴木さんが支部長代行に。支部の再建に取り組み、2013年に正式な支部長に。鈴木支部長は振り返ります。

◆蓮田支部の特徴は、高齢者のサークル活動が一つもなく、女性も市議や女性団体の代表など8人しかいなかった。普通のおばあちゃん・おばあちゃんの集まりでなく（次頁に続く）

狼煙

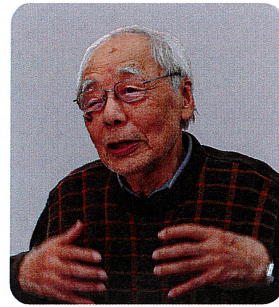
2025.1.15

年の瀬も迫った  
12月26日、約  
束した時間より  
早く二人がやつ  
てきた。蓮田支

部の鈴木前支部長と土井新支部長には、新年号の1面に掲載する蓮田支部の世代交代などについてと企画の意図は伝えてある▼「ねんきん埼玉」の町田編集長と打ち合わせを済ませ、話しに入る前に写真を撮るが前支部長の表情はまだ硬い。80歳で年金者組合に加入する前のことを話し始めたら途端に和らいだ。ひと通りしゃべって、「私はおれでおしまい、次は土井さんの番」とバトンタッチ▼土井新支部長が支部長を引き受ける前後のくだりを話し始めた。当時の役員のガンバリをみて決意したこと、そして支部長任せにしないで支えてくれる仲間がいること▼女性2人が役員に加わったこともしつかり書いてとの要望も受けた。「執行部の支え合いが楽しいんだよ」の一言が頭をよぎった。(和)



労働組合の活動家の集まりだった。楽しみということでは、旅行会・花見・芋煮会・初詣をやってきた。



誰でも参加できておしゃべりができる拡大執行委員会も毎月やってきた。

目が見えなくなっても会場取りとかをやってくれる事務局長もいたり、「執行部の支え合いが楽しいんだよ」、「執行部が結束しなければ再建できなかった」支部ニュースも一度の休刊もなく月1回発行し、現在146号になった。地域では、「9条の会」、「平和を考える集い」などいろいろな団体の組織とも連携をして活動してきた。

そういう中で、役員の高齢化にどうしても世代交代をしたというところで、組織体制の強化が死活問題と2021年の支部総会で確認し、組合員の年齢構成の分析なども行いながら世代交代をしていく役員推薦委員会を起ち上げようということを決めた。

### そこで 新支部長の登場

2015年に形だけ年金者組合には加入していましたが、いまだに軸足は地域にはなかった新支部長。地域で活動しようと思っていた時に鈴木さんから声をかけられて、地域労連に自分の代わりになる人になつてほしいという話があり、役員になりました。そうすると地域労連で決まっていたことを伝えるために支部の定例会に参加することになり、鈴木さんや最高齢の岡部さん、80代

後半の事務局長などの頑張りを見てきたらバトンを繋げなくてはと思いはじめてきました。そうして役員推薦委員会にも参加してききましたが、なかなか役員のなり手がでてきません。もう1年鈴木さんに支部長をしていただくという結論だったんですが、ある時93歳の鈴木さんが会



議に参加する途中で歩行困難におちいつたりして支部長としての仕事ができなくなりしました。支部長になるのは荷が重いという風に思っていました。年長者組合蓮田支部を潰すわけにはいかないという思いになり支部長を引き受けることとしました。

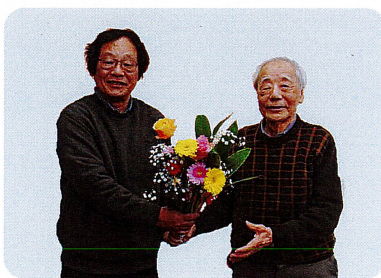
また80代後半の事務局長も、高齢のため一緒に交代をする課題があつたわけですが、それでも、支部長と同年代の岸尾さんが「長のつく仕事」はできないけれども事務局の仕事であれば頑張るということになり、その方と2人で事務局の仕事を進め、事務局機能が強化され活性化しました。

### もう一つの注文と 楽しみ7分

世代交代の中で鈴木支部長さんからも1つ言われていたことが、女性の執行委員を何とか入れたということ。

お花見をした時や一泊旅行などでも声をかけて、2人の女性の方に役員を引き受けてもらうことができました。2人の女性役員は定例会にも出席し、県本部の全県支部交流集会へ参加した時には「なさんで(蓮田支部には)サークルがないの」と言われました。

県本部から送られてくる各支部のニュースを見て、各支部の豊かなサークル活動に圧倒され、羨ましく感じています。活動家の集まりから変えていきたい、何としても楽しみ7分を進めていきたいというところでその第1弾として2025年新年カラオケ大会を企画しました。



その他にも囲碁などが得意な方もいるので、そういう方たちの幅広い活動を拾い上げて楽しみを広げていきたい。

(活動3分では)受給日宣伝は蓮田郵便局前で2ヶ月に1回行っていますが、良ピラの受け取りも良

く、また、声をかけてくれる人も毎回いて、年金問題を広く社会に対してアピールできる活動として位置付けています。年金問題についても学習を深め、楽しい活動と合わせて年金の改善問題、特に女性の低年金問題にも取り組んでいきたい。2月27日の定例会で裁判の問題学習会を行うということを決めました。

### 締めは前支部長

ギリギリダンスや歌詞が面白い「はいよろこんで」が紅白歌合戦に出演すると切り出した前支部長。人生100歳時代、多様な価値観を認めながら一緒に楽しむことが大事、そういう年にしようと思ってきました。





## 年頭のご挨拶

### 要求実現に向け

### 運動を強化しましょう

年金者組合埼玉県本部

執行委員長 宇佐美 忠利



など社会活動が多いほど認知能力が保たれると

新年明けましておめでとうございます。皆さんが、元気に楽しく豊かな人生を送られることを期待します。組合員同士が絆を深め、助け合う努力をしようではありませんか。

人生100年時代、長寿のキーワードは「コミュニティ」、「食事」、「運動」と言われます。趣味活動地域のボランティア

日々の年金者組合の活動が役に立つのではないのでしょうか。今年には戦後・被爆80年です。昨年、日本被団協がノーベル平和賞を受賞しました。粘り強い活動の結果です。核兵器禁止条約を日本政府が署名・批准する様に運動を強化しましょう。軍事ではなく憲法を活かした外交で平和を守ることが求

められる年です。

昨年10月の総選挙の結果、与党は少数になり、国会での強行採決ができない状態です。

私たち国民の要求を実現する可能性が高まっています。政府に対して物価高騰を上回る年金の引き上げを実現する取り組みを強めましょう。今年の夏には、参議院選挙や都議選があります。私たちの要求を実現する政党や候補者の支持を広げましょう。

要求の実現には、大きな年金者組合組織が力になります。仲間増やしに日常的に努め、多くの組合員を迎えようではありませんか。



24年秋の拡大月間を振り返る

**埼玉県 拡大183人 純増19人**

県本部 組織部長 小久保 雅輝

24年秋の拡大月間を振り返ってみます。今回の運動は次の目標を掲げ活動しました。

☆1 全ての支部(63支部)で成果を上げよう

☆2 目標達成支部は20支部以上を目指し、全県の拡大数は300人以上とする

《実績》

- ① 成果支部は63全支部中41支部が成果を出しました
- ② 目標を達成した支部は11支部、拡大数は183人となりました

正直な感想から言えば、「いつもより成果が弱かったなあ」ということです。

特に感じるところは、3か月運動をし

て「一人も増やすことができなかった」という支部が21支部もありました。21という数字は全県支部の約3分の1にあたります。

3分の1の支部が成果ゼロということ、大変残念に思います。月間の最中に総選挙があり、「選挙運動で忙しく、仲間増やしをする時間がなかった」という声が聞こえました。

正直な声であると思います。一方「選挙運動で普段会えない人にも多く会え、仲間入りの声かけも普段より出来た」という声があるのも事実です。

全国的にみて埼玉県はどうであったか、中央本部発表によれば

は全国の11月末現勢は9万9803人で残念ながら10万人に届きませんでした。

埼玉県の11月末現勢は9249人で拡大数183人、全国第2位の実績です。

高齢者の多い組織です。増やしてもなかなか現勢が伸びてこないのが実態です。増やす努力をしながら、減らさない努力が大切なことは言うまでもありません。

ありません。

日々仲間増やしについて心がけ組合員数全国10万人、全県1万人の早期回復に向け頑張ります。



仲間は月間増やし運動では



## 12・20 裁判報告集会

## 女性の低年金を改善せよ！

12月20日、東大宮コミセンに於いて「年金裁判報告集会」が開かれ、67人が参加しました。

集会の開会にあたって宇佐美訴訟推進委員会委員長は、「10年近くにわたる裁判は、5200人を超える原告団を中心にして地域や労働組合の皆さんの支援のもとに闘ってきました」と報告し、次に来賓として藤田省吾埼玉労連議長(写真左)が挨拶



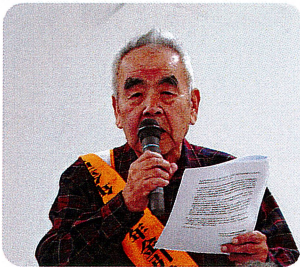
挨拶しました。

埼玉年金裁判柳井護団長(写真右)は「明確な憲法違反がない限りは憲法判断に立ち行かない堀木訴訟判例」を踏襲した国の主張をほぼ受け入れた政府に追隨した判決であり、最高裁は憲法の番人の役割を果たしているのかと話されました。続いて柳原告団事務局長(写真下)が9月12日に判決言い渡しがあつた5事裁判

決についての抗議声明を読み上げ、それまでの裁判の経過についてわかりやすく説明しました。その後も裁判運動に対する評価や今後の取り組みなどについて提起されました。

その中で、この裁判で低年金特に女性の低年金の実態が明らかにになったこと、年金を受給して

いない現役労働者との連帯が深まったことなどや、通常は「上告を棄却する」との通知だけの最高裁判決が、法廷を開いて判決を言い渡さざるを得なかった点まで押し上げた成果などに



も言及し、さらに11月18日の年金者組合の厚生労働省への要請行動には事務次官が対応するなど今までにない対応を作りだしてきていることも報告されました。



「年金裁判を支える久喜の会」の発言活動について発言する稲木豊作会長



女性の低年金の実態について発言する矢島啓子執行委員

## 中央委員会報告

## 24年 春の仲間増やし表彰

書記次長 小久保 雅輝

12月9～10日の二日間に渡って、お茶の水の全労連会館において全日本年金者組合中央委員会が開催され出席してきました。二日目に「2024年春の仲間増やし」運動について顕彰式がありました。



「24年春の拡大増やし」運動について顕彰式がありました。名前を呼ばれた県本部の代表者は前に来てくださいます。

初めて中央委員会に出席させて頂き6分間の発言もしました。「ねんきん埼玉」349号3頁参照さらに埼玉県本部を代表して表彰の栄に浴し、全組合員の皆さまに感謝申し上げます。大変ありがとうございました。

んが：」とお声が掛かり前に進みました。杉澤中央執行委員長から顕彰状と顕彰金(1万円)が手渡され、併せ「拡大純増数」の部門でも第4位の成績を評価され顕彰状と顕彰金(5千円)も頂いてきました。



熱心に耳を傾ける参加者の皆さん





## 受給日宣伝 写真館

12・13

受給日宣伝行動

各支部多彩に実施



駅のペテリアンデッキにて

駅頭宣伝で

2人が加入

狭山支部

支部長 栄木 純子

年内最後の駅宣で秋の月間の目標達成不足分を挽回しよう！と執行委員一致団結

し準備をしてきました。書記長はプラスター用の材料をプラスターのサイズに合わせ、お店で自ら裁断しポスターをシツカリ貼り付けて持ってきてくれました。当日は「狭山支部のカラーチラシ」と「学校給食費無償化」の署名も合わせてお願いしていました。

署名の傍ら、支部長の一声「年金者組合に入りませんか？」と話す、「現役時代は労働組合に相談できたけど、これからは年金者組合だね」と思いがけず2人の方の加入につながりました。嬉しいですね！最後に「参加者全員で、来年も楽しく頑張りましょう！」と散会しました。参加者11人、署名数12筆。

## 松伏支部

(写真上)松伏支部では町に駅が無いため交差点での宣伝行動を実施しました。



## 蕨支部

## 所沢支部

(写真左)所沢駅西口で14人が参加して実施しました。署名数は22筆、1人が加入しました。



あのまち  
このまち  
新発見

儒者である児玉南柯が開いた私塾

## 岩槻藩遷喬館

岩槻支部 岩淵 幸子



岩槻に過ぎたるものが二つあります。児玉南柯と時の鐘。岩槻と言えばすぐ出てくる言葉です。

儒者である児玉南柯が開いた私塾、「岩槻藩遷喬館」。埼玉県内では唯一現存する藩校の建物です。

寛政11年(1799年)に開かれ後に藩校となり、岩槻藩の武士の子弟が勉学や武芸の稽古に励みました。昭和14年(1939)に埼玉県の史跡に指定されました。

遷喬館の名前の由来は、詩経(中国最古の詩集)の「伐木」の一節、「出自幽谷 遷于喬木(幽谷より出でて喬木に遷る)」に由来しています。学問を欲しい友を求め、鳥が明るい場所

を求めて暗い谷から高い木に飛び遷る姿にたとえたもので、学ぶ者に高い志を持つことを促す意味が込められています。ここで学ぶ子どもたちに高い目標をもってほしいという南柯の願いがこめられています。この遷喬館から歩いて数分のところ、時の鐘があり、毎日朝6時、12時、18時に美しい鐘の音を響かせています。人形の街岩槻ならではの行事「人形パレード」や「人形供養祭」、「まちかど雛めぐり」、「鷹狩り」にお越しの際は是非立ち寄っていただきたい場所です。

【ご案内】

開館時間：9時～16時30分  
休館日：月曜日(休日を除く)  
休日の翌日・年末年始(12月28日～1月4日)

入館料：無料

アクセス：東武アーバンパークライン(野田線)「岩槻駅」東口より徒歩10分、岩槻本町公民館・岩槻図書館の向かい  
※駐車場はありません。





朝霞支部では3ヶ月に1度の誕生会を開き、今回は40人が参加しました。毎回のいろいろな方に当日の出演を依頼して、以前には前進座の方も数回お願いしてきました。今回は組合員も参加する日本舞踊の「若穂会」7人の皆さんにお願いして頂きましたが、誕生を祝う踊りの後、シャンソン「愛の賛歌」の音楽に合わせて

## 朝霞支部

作品展3人バス旅行2人

久しぶりに拡大目標達成

木村 静恵

て踊るといふ司会の案内にビックリ、全く違うジャンルの音楽に日本舞踊で踊るとどうなるのか興味津々。確かにいつものゆっくりとした動きと違い、足も軽やかに手先は天に向かっているのびやかに、全く違う音楽にも違和感なく美しく踊ってくれました。普段は滅多に日本舞踊を見ない男性からも拍手喝采でした。そして新しいものに挑戦して楽しみ踊る方々に感動でした。踊りの先生は、これはパリ・オリンピックがあったから考えたのではなく、自分たちのオリジナルな踊りだとのことでした。

## 秩父支部

寒さに負けず

グラウンドゴルフ大会

梅沢 俊雄



12月5日(木)、秩父市吉田・元氣村にて、秩父支部の第二回グラウンドゴルフ大会が開催されました。

秩父夜祭が終わった、急に寒くなりましたが、寒さに負けずに23人の仲間が集まり、プレーを楽しみました。

初めてグラウンドゴルフをする人や組合行事に初めて参加

する人など、多少のとまどいを感じた人もいましたが、休憩時の木暮昇会長の「ボールから最後まで目を離さないで打つように」のアドバイスを受け、「本当だ。真つすぐ飛ぶようになった」と喜んでいました。



優勝は初参加の女性で、金子寛次支部長から優勝カップが授与されました。

## ブロック会議で 支部交流

仲間づくり月間が終了した12月も、10あるブロックのうち、9ブロックで会議が開かれています。会議の後には、県本部執行委員会に向けて報告書の提出がなされます。

今、届いている4つのブロックの報告書を見てみましょう。各ブロックとも出席者が記載され、各支部ごとに秋の仲間増やしについて掲載されています。また、ブロックによっては県の支部ごとの組織現勢の一覧表を使っているところ

ブロック会議は、近隣支部それぞれの支部での活動を交流すること、刺激により、参加者がいきいきと発言し、県本部ブロック担当者も出席することから県本部への意見・要望もだされる場となっています。



るもあります。支部独自の活動についても誕生会・映画会・スマホ教室・味噌づくり等行った活動やカラオケ新年会・おしゃべりサロン・餅つき大会など今後の取り組みが紹介され、自分の支部の活動の参考になっているようです。支部によっては、合同でレクを取組んでいるところもあります。



## 今月の絵手紙

堀江 美津  
春日部支部

## 支部だより

いつでも「加入」  
リーフレット

## 行田支部

行田支部は、今年80人台。何とか百名の支部に努力しています。今年度は、12月末現在で11人の新しい仲間を迎え入れました。その特徴を簡単に記します。▼役員と前役員は、

いつでも行田支部独自で作成した「加入」リーフレットを持っていることになっています。A4の両面ですが、三つ折りになります。とてもコンパクトです。▼このリーフレットのお陰で、例えば、2人の方は、ある会合で声をかけたと同時に入り

ました。タイミングが大切です。▼粘り強く3年越しに働きかけて入った人もいました。諦めなくてよかったです。▼サ



カルやスマホ教室を通しての加入もありました。スマホ教室は、すでに30回を超える回数ですが、これからも仲間増やしたいという面でも意味ある教室になりそうです。

▼共同墓を通しての加入も4人ありました。▼行田支部には、

仲間増やしの名人がいます。その方は「年金者組合は楽しいよ」と言って、躊躇せず、いろいろな方に声をかけています。多い時には、一度に3人増やしました。

これから、みんなで「楽しみ7分、活動3分」を合言葉に百名を目指してがんばります。

事務局長

三宅 典之

## 年金文芸

## 短歌

黒き貨車肩当て挑む駅夫らに  
ようやく朝の霧は動けり

みのる(加須)

三郷から福島までのバスツアー  
記憶と記録辿る一日

公彦(三郷)

珍しき縦に一筋白雲の  
茜に染まるたそがれの妙

柳沢 順子(岩槻)

## 俳句

雨上がり黄色の紅葉踏みし朝

恵千(北本)

きっちりとのんびりとまぜ暮らす秋

武藤 多喜子(戸田)

流行語になりて実れり「ヒダンキョウ」

望月 たけし(越谷)

## 川柳

困り果て卓袱台返し of 自民党

ギリギリ(新座)

年金日ちよつと安堵の灯がともる

まるこ(朝霞)

自民党裏金議員を裏公認

河村 斌(川口)



## 入ってよかった共済

今年2月6日、共済の学習会に参加し、即決めました。25年間掛けていた火災保険から全労連火災共済への切り替えを。それが数か月でこの共済の適用を受けるとは思いもよりませんでした。

7月31日、1時間に100ミリ超のゲリラ豪雨が朝霞市全域を襲い、床上浸水119戸の被害をもたらしました。なかでも三原4・5丁目地域は床上浸水43戸におよび、一番上手になる我が家は、床上5センチくらいの浸水で和室の畳は浮き上がり水に浸かりました。

直接被害に遭ったのは、和室の畳8枚と、乗用車1台、バイク2台ですが、茶箱を廃棄したくらいで書類等は陰干しをして再生させました。手続きをしてから、時間はかかりましたが、12月10日、思った以上の共済金が振り込まれました。入って良かったではなく、入って良かった共済です。有り難うございました。

朝霞市 三田 秀次郎



## 専門部だより

### 教宣部

「ねんきん埼玉」は今号で350号の発行になりました。昨年途中から編集作業を引き継ぎ、毎月15日までに各支部へ到着するよう取組んでいます。

350号 発行

特に新年号は年末年始があり、紙面作成の期日が短く、また最近の郵便事情等で9日までに郵便局へ渡さなければならなかったため、教宣部員は正月休みを返上して編集作業を行い、何とか間に合いました。

(編集長)

### 共済部

検討してみよう火災共済  
自然災害特約  
つけるかどうかを

近年地震・風水害等が頻発しています。また、昨年は特に火事の発生が全国的に多くなっています。こうした被害に対する万が一の時の保障を確保することが大事になってきています。年金者組合が扱っている火災共済は民間の火災保険と比べ掛金が大変安くオトクです。

さらに、今年4月からは共済の制度が改定され、地震・風水害に対する保障を手厚くした特約制度もオプションで付けられるようになります。掛金は現行の契約の2倍になりますが、風水害等は基本契約の1.5倍から3倍(最高900万円)、地震等は2倍(最高600万円)になります。特約を付けても掛け金は民間の保険料の6割程度です。特約をつけない場合でも、火災共済には風水害(最高300万円)と地震の見舞金(最高300万円)がついています。

是非この機会に民間からの切り替え、また現行の火災共済に加入されている方は、火災共済のチラシをみて特約加入の検討をされることをお勧めします。

ご不明な点は県共済会までお問合せください。

年金埼玉共済会

副理事長 磯前 ひろ子

## 今月の簡単手料理

## すこしお でおしくヘルシー (減塩)

資料提供：医療生協さいたま

## 白菜スーパ煮

【材料】2人分

- ・白菜 250g(大きめそぎ切り)
- ・豚小間肉 100g
- ・緑豆春雨 20g(5cm位戻す)
- ・生姜 1かけ(スライス)
- ・ごま油 大さじ1杯
- ・コンソメ 1個
- ・水 200ml
- ・胡椒 小さじ1杯強
- ・片栗粉(水溶き)

### 【作り方】

- ①ごま油で生姜の香りをだし、豚肉を炒め、次に白菜を入れ炒める
- ②水を入れ沸騰させ、コンソメ、最後に緑豆春雨を入れる
- ③胡椒で味を調え、水溶き片栗粉でとろみをつける

